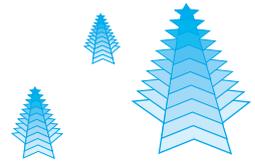


若い力と国際協力で、都市近郊の森林を守る 「NPO 生駒いいもり里山サポーターズ」



ここ10年ほど前から森林ボランティア活動あるいは里山保全活動がブームである。そして今では、公益性をもったアウトドアのレジャーの一つとしても確立されたと言えるような状況でもある。しかし、まだ、時おりハイカーや近隣住民から、自然破壊者として叱られることがある。確かに、大勢の人間が、カマ・ノコ・ナタあるいはチェーンソーまで持ち出して、住宅地のすぐ近くの山林で木を切り倒し始めれば、開発で緑を失ってきた私たちには自然破壊と映っても仕方がないかもしれない。

この、私たちの住まいの近くに残された山林は、多くの場合、農家経営と一体になり薪炭林・用材林・水源林として、あるいは肥料採取・食材採取・信仰や娯楽に利用されてきた「里山」である。しかし、ガス・石油などへのエネルギー源の転換、家庭用品や農具などのプラスチックや金属化、また化学肥料の普及や「米」の減反政策などによる営農意欲の減退などにより、管理放棄による密林化が進行している。そして緑に飢えた私たちはその密林化した山林を自然の復活と誤解しているのである。

放置された里山は、常緑樹に覆われた暗い林床となる。あるいはササの密生、竹林の拡大などによって、他の植物が侵入できなくなり、種の組成が単純化する。このような中で、少し前ならよく見かけていた身近な生き物や草花が、いま、姿を消していつているのである。草を刈ったり、木を伐ることによって、植物の多様性が維持され、その多様性に支えられて生き物も多様であったのである。

そればかりでなく、林床に草が育たない薄暗い山は土壌の浸食がすすみ、土砂崩れなどの防災上や水源のかん養といった面でも管理作業が必要なのである。

さて、今回紹介する「生駒いいもり里山サポーターズ」（以下、「里山サポーターズ」）は、そんな観点から生駒の森林を守るために設立された団体である。「里山サポーターズ」は、生駒山系内の飯盛山（大東市）の山麓にある約66,000㎡の山林（学校法人大阪信愛女学院所有「大阪信愛女学院観察の森」）を里山保全活動実習地としている団体である。その前身は、学生たちに自然にふれる機会を増やしたいと考えていた教職員の有志と地域住民によって1996年の秋に活動を始めた「飯盛・北条の里山を保全する会」である。初めの5年ほどは実習地内のササ刈りと間伐を中心とした林床整備に追



大阪市立関目東小学校児童の里山一日体験〔2000年11月〕

われていたが、その作業もひと段落したところで、この活動をさらに発展させるため、2003年2月に名称変更し、同年6月にNPOの認証を受けた。現在、約30名が活動している。会員は50～60歳代が中心であるが、もちろん大阪信愛女学院短期大学の卒業生・在学生などの若い参加者も何人かいる。

活動内容は、①里山管理作業、②自然環境教育活動、③普及啓発活動などである。①としては、毎月第一日曜日を例会活動日として上記の山林で、草刈り・枝打ち・除間伐・道整備・炭焼きなどを実施、②としては、小学生を対象とした自然観察やクラフト、あるいは一般市民を対象とした野草料理・野草茶・野草ジャムづくりのイベントなど、③としては、日本国際ワークキャンプセンター（NICE）との共催で、国内外からの若者の参加のもと国際ワークキャンプの実施（本誌No.1参照）、また各種イベントに展示出展、さらに今年は、実習地の植物の紹介などをした冊子の発行、それに地元大東市民を主な対象とした『里山の楽しみ方教室』（全6回）の開催などを予定している。

このような活動を通して、（社）大阪自然環境保全協会をはじめ、同じ生駒山系で活動する他の里山保全団体などとの連携をとりながら、さらに大阪府や大東市がすすめる生駒山系グリーンベルト整備事業などにも積極的に協力し、自然保護だけでなく防災面でもすぐれた森林づくりをしていこうと考えている。（大阪信愛女学院短期大学 足高 壱夫 記）

2004年度大阪信愛女学院短期大学公開講座「環境総合研究所講座」ご案内

- | | | |
|-----|---------------------------------------|--------------------------|
| 第1回 | 5月13日(木)「生命の歴史をたどる一人はどのようにして誕生したか」 | 大阪信愛女学院短期大学教授 高井 明德 氏 |
| 第2回 | 5月20日(木)「里山保全活動入門ー里山保全活動って何?」 | 大阪信愛女学院短期大学助教授 足高 壱夫 氏 |
| 第3回 | 5月22日(土)「里山保全活動体験ー森には入って作業してみよう」 | 大阪信愛女学院短期大学助教授 足高 壱夫 氏 |
| 第4回 | 6月23日(水)「現代社会と中世の出会いー圃場整備を前にした中世村落史跡」 | 泉佐野の歴史と今を知る会事務局長 井田 寿邦 氏 |

開催時間：午後6時30分～8時（第3回のみ午前10時～午後3時）／開催場所：第1・2回は本学鶴見学舎、第3回は大阪信愛女学院自然観察の森、第4回は大阪府立文化情報センター（中央区大手前）／申込み：往復葉書に「住所・氏名・年齢・電話番号・1講座名」（第3回の講座のみ第2回の講座受講が条件）を明記の上、大阪信愛女学院短期大学公開講座係(TEL 06-6180-1041)